

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025 大阪の受賞者へ賞状を授与

JICA が実施する「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」では、2025 年度「世界の幸せのために私たちができること～未来へつなげるために～」をテーマに作品を募集しました。

この度、全国からの応募総数 29,854 作品(中学生の部:11,943 作品、高校生の部:17,911 作品)の中から、「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」を受賞した生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と、国際協力経験豊かな JICA 関西・大阪デスク(国際協力推進員※)が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

※ 地域の JICA の窓口として、地域国際化協会など地方自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に JICA が配置しています。

世界との繋がりがますます深まる現在、未来のために、大阪の中学生・高校生が何を考え、どのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

受賞生徒、学校教諭、大阪デスクへのインタビューが可能です。

【日程】 2月25日(水)16:00～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
枚方市立楠葉西中学校	国内機関長賞	3	本が読める世界にするために	枚方市西船橋 2-43-1
	佳作	3	支える人を支える人に	
	学校賞(※)			

(※)60 作品以上または全校生徒の 3 割以上の応募があった学校が対象

【日程】 3月3日(火)12:20～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
学校法人大阪産業大学 大阪桐蔭高等学校	国内機関長賞	1	幸せ拾い	大東市中垣内 3-1-1

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課 TEL:078-261-0384

<参考>

【受賞作品概要】

●国内機関長賞 枚方市立楠葉西中学校 3年

タイトル:本が読める世界にするために

幼い頃から本を読むことが好きで、物語によって新しい世界を知る喜びを感じてきた。しかし、子供用図書がほとんど出版されていない地域へ絵本を送る活動に参加し、戦争や紛争によって学校へ通えず、文字を読めない子どもが世界には多くいることを知り、文字が読めることが当たり前の日本との違いに驚いた。現地の子どもから届いた感謝の手紙が届いた。本が読める環境は決して当たり前ではないと実感しつつ、自分の送った本が子供たちの教材になったことに心が温かくなった。世界の問題を自分事として考え周りの環境に感謝する機会となった。私の望む未来の社会は、すべての子どもがやりたいことができる社会である。国際的なつながりが強まる今こそ、教育を受けられない子どもの存在を軽視してはならない。世界の子ども達がやりたいことを楽しむことができる未来を目指して、恵まれた環境に感謝しつつ、たくさん本を読み、学びを大切にしていきたい。

●国内機関長賞 学校法人大阪産業大学大阪桐蔭高等学校 1年

タイトル:幸せ拾い

家の近くの溝が吸い殻入れになっている。年末の大掃除でその溝を掃除することにした。最初は「なんで捨てるんだ」という怒りの気持ちが強かったが、溝が綺麗になっていくのを見て、幸せな気持ちになり、ゴミ拾いを「幸せ拾い」と呼ぶようになった。もしこれらのゴミが風で海に流れ込み、小魚が餌と間違えて食べて死ぬかもという悲しい光景が浮かび、一つの行動が、実は地球全体の環境を左右する大きな問題につながっていると感じた。今、地球では海洋汚染が深刻な問題になっているが、開発途上国では廃棄物処理の能力が不足しており、その適正処理のため、国際協力の強化が求められている。大阪・関西万博に行った時、セントビンセントの美しい海の写真に強い衝撃を受けた。同時に「この海を汚してはいけない」という思いが湧きあがった。だからこそゴミを減らしリサイクルを進めることや、国際社会が開発途上国に廃棄物処理能力を高める支援を行うことが必要である。たとえ一握りのゴミでも、それを拾うことで世界のどこかの海や命を守れるかもしれない。この思いを胸に「幸せ拾い」を続けていく。

【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	1,042	329	1,371
京都府	579	742	1,321
大阪府	597	1,093	1,690
兵庫県	237	675	912
奈良県	151	80	231
和歌山県	159	19	178
計	2,765	2,938	5,703

賞の種類(中学生・高校生共通)

個人賞	最優秀賞	3名
	(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)	
	優秀賞	3名
	審査員特別賞	4名
	国際協力特別賞	10名
	国内機関長賞	各都道府県1名以下
	佳作	70名程度
	【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修	
	その他個人賞:フェアトレード商品	
学校賞	60作品以上または全校生徒の3割以上応募	
	(副賞:表彰メダル)	
特別学校賞	5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)	

【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生を対象に、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962 年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2025 年度は高校生の部が 64 回目、中学生の部は 30 回目を迎える事業。

中学生の部の審査員長は尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部の審査員長は星野知子氏(俳優・エッセイスト)に担っていただいた。

2025 年度をもって本事業は終了する。今後 JICA は、探求学習に活用できる教材の提供や JICA 海外協力隊等のオンライン出前講座の拡充などを通じて、新たな形で中高生の学びを支援していく。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QR コード参照)

